



子どもと はじめてのキャンプ体験 グランピングの 楽しみ方



glamorous + camping



WILD BEACH木更津

千葉県木更津市金田東2-10-1 / 070-3669-8480 (10:00-18:00) / 東京湾アクアライン「木更津金田中IC」より車で5分 / <https://wildbeach.jp/kisarazu/>



テントは海外で軍用にも使用される「グランピングキャビン・エクストラ ミレニアル」。クイーンサイズのベッドが2台入って、こんなにゆったり。

グランピングってここがステキ!



手ぶらでOK

寝袋やバスタオル、バーベキューセットにキッチン用品など、何でもレンタルできる。

食事の準備不要

バーベキュー食材が注文できたりコース料理が食べられたり、施設それに食事の楽しみも。

非日常空間で ゆったり

ラグジュアリーなロケーションで何もしない贅沢を味わったら、心からリラックスできそう。

特に小さな子どもといっしょのキャンプは、設営はもちろん荷造りや後片づけも大変で、癪されるために行ったのに、なぜかぐつたり……。ということになりかねない。せっかくなら子どものためだけでなく、パパやママものんびりできるキャンプがしたい。今回はそんな子育て世代にも人気の「WILD BEACH木更津」に向かった。

「WILD BEACH木更津」では、バーベキューを注文するとマシュマロをサービスしてもらったり、据え置き型の薪割り機で薪割り体験ができるたり、子どもへのサービスも充実している。アクセスもよく、都心から車や高速バスに乗ればわずか一時間ほどの距離なのも嬉しいところ。徒步圏内にある「三井アウトレットパーク木更津」や「木更津かんらんしゃパークキサラピア」なども合わせて楽しみたい。

子どもとはじめてキャンプに行くなら、グランピングが便利。グランピングとは、「グラマラス」と「キャンピング」をかけ合った造語で、まるで高級ホテルのようなロケーションにいたわせた体験を満喫できる施設のこと。一般的なキャンプのように食材の準備をして行ったり、テントの設営をしたりしなくていいので、その手軽さから欧米で火がつき、日本でも全国各地にグランピングを楽しめる施設がオープンしている。

特に小さな子どもといっしょのキャンプは、設営はもちろん荷造りや後片づけも大変で、癪されるために行ったのに、なぜかぐつたり……。ということになりかねない。せっかくなら子どものためだけでなく、パパやママものんびりできるキャンプがしたい。今回はそんな子育て世代にも人気の「WILD BEACH木更津」に向かった。

疲れないキャンプ

都心から一時間のアクセス



WILDBEACH木更津で楽しむ 1泊2日のモデルプラン

「WILDBEACH木更津」に泊まって、くたくたになるまで外遊び。一泊でも、充実した施設の中でたくさんのが体験できる。



CHECK OUT

飲んだり
食べたり

シャワー

おやつ&BBQ

外遊び満喫

ランチタイム

早速あそぶ

到着!

隣のアウト
レットに
寄っちゃう!?子どもが寝たら
大人だけで
まったく焚き火シャワールームも
キレイでさっぱりバーベキュー
食材セットを
注文したよ!大きな
お砂場が
あるよ!レンタサイクルで
どこまで行こう?

キャンピングトレーラー

グランピングロッジ・トライアングル



アメリカ直輸入のトレーラーの中は、「エレガント」「ボタニカル」など、それぞれテーマに合わせたインテリアが楽しめる。



悪天候でも宿泊できるロッジは天井が高く、ロフトにベッドが。6名まで宿泊できるので、グループで泊まるのも賑やかで楽しい。

ホテル



ジェットバスや冷暖房完備のホテルタイプコテージは、赤ちゃんのいるファミリーにオススメ。2階のテラスでバーベキューも。

グランピングキャビン・ログテント



木製のログテントには暖炉型のファンヒーターがあって暖か。二段ベッド2台の広々タイプで、ママ友とのお泊まりにもいいかも。



ほかにもこんな宿泊施設がある!

テントだけでも9種類、他にもトレーラーやロッジタイプなどバリエーション豊かな宿泊施設。グループで行くときは、それぞれの家族構成に合ったところを選ぶことができる。泊まる場所を変えると、また新しい体験ができるそう。



持つて行かなければならないものは特にないけれど、あつたら楽しいのは花火や懐中電灯。夜の暗さを楽しむのにキャンプはぴったり。子どもには、濡れてしまつてもいい靴や、水場まで行かなくても手を拭けるウエットティッシュがあると便利。そして大人はお気に入りのお酒やおつまみを。

はじめてのグランピングでは、戸惑つたり分からぬことがあつたりと落ち着かなくて、深呼吸してゆつたり過ごすのが、キャンプを成功に導くポイント。普段は、立つて食べちゃダメ!とか『汚さないで!』と気になつてしまふアレコレも、今はちょっと忘れて。キャンプのマナーやルールは、連れて行くうちに子どもも学ぶもの。まづは「外で眠るのが楽しかった!」「外で食べるごはんがおいしかった!」と思えるようにならね。

子どもとのキャンプでは細かいことは気にしない。